

Kurume College		Year	2024		Course Title	Liberal Arts Seminar 2(Digital Humanities)	
Course Information							
Course Code		4AR21		Course Category		General / Compulsory	
Class Format		Lecture		Credits		School Credit: 1	
Department		Department of Mechanical Engineering		Student Grade		4th	
Term		Second Semester		Classes per Week		2	
Textbook and/or Teaching Materials		教科書は使用せず、適宜資料を配布する。参考書については、各テーマに関連するものを授業内で紹介する。					
Instructor		常木 佳奈					
Course Objectives							
1. 人文学研究の意義を正しく理解し、先行研究を的確にレビューできる。 2. アーカイブされている文化資源の特性を正しく理解し、既存のアーカイブを的確に批判することができる。あわせて、文学作品や文化に対して、敬意を払って接することができる。 3. 先行研究や既存のアーカイブなどを参考にオリジナルなデジタルヒューマニティーズ（以下、DH）型プロジェクトの企画案を作成し、その内容をプレゼンテーションできる。							
Rubric							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		人文学研究の意義を正しく理解し、先行研究を的確にレビューできる。		人文学研究の意義を理解し、先行研究をレビューできる。		人文学研究の意義を理解し、先行研究をレビューできない。	
評価項目2		アーカイブされている文化資源の特性を正しく理解し、既存のアーカイブを的確に批判することができる。		アーカイブされている文化資源の特性を理解し、既存のアーカイブを批判することができる。		アーカイブされている文化資源の特性を理解し、既存のアーカイブを批判することができない。	
評価項目3		先行研究や既存のアーカイブなどを参考にオリジナルなDH型プロジェクトの企画案を作成し、その内容をプレゼンテーションできる。		先行研究や既存のアーカイブなどを参考にDH型プロジェクトの企画案を作成し、その内容をプレゼンテーションできる。		先行研究や既存のアーカイブなどを参考にDH型プロジェクトの企画案を作成し、その内容をプレゼンテーションできない。	
Assigned Department Objectives							
4							
Teaching Method							
Outline		デジタルヒューマニティーズ（以下、DH）とは、さまざまなデジタル技術を用いて文化資源にアプローチするという、文理融合型の学際的な学問分野を指すことばである。本授業では日本の絵画作品（浮世絵・木版口絵）と古典籍を中心に、それらに関連するデータベースを取り上げ、より良いアーカイブの構築に向けて議論を深めていく。授業を通じて、人文学研究の意義を正しく理解し、先行研究や既存のアーカイブを的確にレビュー・批判する力を身に着けるだけでなく、文学作品や文化に対して敬意を払って接する態度を養ってほしい。また、議論やプレゼンテーションを行う際には、自身のコミュニケーション能力の向上に積極的に努めることも期待する。					
Style		・2～3週目には、DH関連の先行研究をレビューする。指定された論文や記事を読み、各自、担当箇所について解説できるよう、準備をしていくこと。 ・4～7週目には、浮世絵の特性を学び、アーカイブの方法について考える。指定されたデータベースやWEBサイトをあらかじめ閲覧し、アーカイブされている文化資源の特性などを整理しておくこと。 ・8～11週目には、古典籍の特性を学び、アーカイブの方法について考える。指定されたデータベースやWEBサイトをあらかじめ閲覧し、アーカイブされている文化資源の特性などを整理しておくこと。 ・12～15週目には、先行研究や既存のアーカイブなどを参考にオリジナルなDH型プロジェクトの企画案を作成し、そのプレゼンテーションを行う。資料作成のための準備時間を授業内に設けるが、時間が不足する場合は各自で準備を進めておくこと。					
Notice		【事前学習】 ・「授業の進め方」参照。詳細については、授業内で指示する。 【成績評価】 ・満点を100点とし、60点以上の者を合格とする。 ・授業への参加度（課題・発言など）70%、最終プレゼンテーション30%を目安として評価する。 ・授業への参加度を考慮し、必要と認めた場合、補充レポートなどを課す。 【その他】 ・提出を課したもの（ワークシートやコミュニケーションペーパーなど）は授業やそのほかの報告書などにおいて匿名で取り上げることがあるので、その点を留意しておくこと。					
Characteristics of Class / Division in Learning							
☒ Active Learning		☒ Aided by ICT		☐ Applicable to Remote Class		☐ Instructor Professionally Experienced	
Course Plan							
			Theme		Goals		
2nd Semester	3rd Quarter	1st	オリエンテーション 授業の進め方についてDHの歴史、基本的な考え方		DHの歴史と基本的な考え方を理解できる。		
		2nd	DH型プロジェクト研究のレビュー①		指定された論文や記事を読み、担当箇所を的確にレビューできる。		
		3rd	DH型プロジェクト研究のレビュー②		指定された論文や記事を読み、担当箇所を的確にレビューできる。		
		4th	浮世絵とアーカイブ①（浮世絵を知る）		浮世絵の種類やその役割を学び、浮世絵とは何かを説明できる。		
		5th	浮世絵とアーカイブ②（浮世絵で遊ぶ①）		おもちゃ絵を通して浮世絵を楽しむことができる。		
		6th	浮世絵とアーカイブ③（浮世絵で遊ぶ②）		おもちゃ絵を通して浮世絵を楽しむことができる。		
		7th	浮世絵とアーカイブ④（浮世絵を分析し、アーカイブについて考える）		浮世絵の特性を理解し、アーカイブの方法を考えことができる。既存のアーカイブを批判し、より良いアーカイブに向けて議論を深めることができる。		

		8th	古典籍とアーカイブ①（古典籍を知る）	古典籍の形態的な特徴や内容の種類を学び、古典籍とは何かを説明できる。
	4th Quarter	9th	古典籍とアーカイブ②（AIを使ってくずし字の読解に挑戦する①）	「くずし字翻刻システム」を使いながら、江戸時代の板本の読解へ前向きに取り組むことができる。
		10th	古典籍とアーカイブ③（AIを使ってくずし字の読解に挑戦する②）	「くずし字翻刻システム」を使いながら、江戸時代の板本の読解へ前向きに取り組むことができる。
		11th	古典籍とアーカイブ④（古典籍を分析し、アーカイブについて考える）	古典籍の特性を理解し、アーカイブの方法を考えことができる。 既存のアーカイブを批判し、より良いアーカイブに向けて議論を深めることができる。
		12th	最終プレゼンテーションの準備①	特定の文化資源を取り巻く背景について整理できる。 その文化資源の特性を正しく理解できる。
		13th	最終プレゼンテーションの準備②	特定の文化資源を取り巻く背景について整理できる。 その文化資源の特性を正しく理解できる。
		14th	受講生によるDH型プロジェクトの企画案発表①	先行研究や既存のアーカイブなどを参考に、オリジナルなDH型プロジェクトの企画案を作成し、その内容をプレゼンテーションできる。 他者のプレゼンテーションに対して、的確な指摘・質問ができる。
		15th	受講生によるDH型プロジェクトの企画案発表②	先行研究や既存のアーカイブなどを参考に、オリジナルなDH型プロジェクトの企画案を作成し、その内容をプレゼンテーションできる。 他者のプレゼンテーションに対して、的確な指摘・質問ができる。
		16th		

Evaluation Method and Weight (%)

	授業への参加度	最終プレゼンテーション	Total
Subtotal	70	30	100
基礎的能力	50	30	80
専門的能力	10	0	10
分野横断的能力	10	0	10